

「この人」に聞く



福徳技研(株)

社長

徳納 剛氏

約20年前に考案したものの鉄筋防錆技術ということも重視されるが、「もうをベースにしているが、で、当社の技術が注目されたとか、我田引水の改良と試行錯誤を重ねて、れているのだから」と分よくな考えは持っている「とキッパリ。「そのた

ただでなく全国でも急速 過去の実績は土木中心に実績を伸ばしているのだが、「コンクリートは員に講習をし、高いレベルとが今回の受賞に結びつ 土木より建築が多い。スルの技術を提供するといた。建設業の大賞受賞 クラップ&ビルドがこれに、全国フォーラムでは、今回で4例目とな までの考えだが、今後は他団体等にもご協力い

「リハビリ工法」でNB大賞

健康寿命延ばす良い技術提供を

「コンクリート構造物の健康寿命を延ばすことが目的。社会資本整備全体のことを考え、良い技術の提供に努めたい」と謙虚に語るのは、福徳技研の徳納剛社長。同社の

構造物の表面を削孔し、

50年たったものを補修し

い」。

「ASRや塩害により劣化したコンクリート構造物の補修技術」が、第26

徳納社長は受賞要因にながらでも使いたいケー

なお、同工法の紹介を

回中国地域ニュービジネスの進行を効果的に防止す

50年と考えられてきた 拡大も見据える。

全国11会場で8月30日ま

ス大賞(兼中国経済産業局長賞)に選ばれた。

「リハビリ工法」と呼ば

コンクリートメンテナン

劣化したコンクリート

ももとは徳納社長が いる。そのために有効な 売れるかどうかの市場性

れる技術。

うことが大前提とされて 新規性や独創性に加え、

ス協会のHPから確認す